



動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合
 〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
 電話 { (鉄電) 千葉 2935・2939 番
 (公) 043(222)7207 番
 FAX 043(224)7197 番
 2000.10.17 No. 5209

待望 中野委員長の新著

『戦後労働運動の軌跡と国鉄闘争』を学習しよう!

確信をもって新世代の

動労千葉を創りあげるために

待望の中野委員長著「戦後労働運動の軌跡と国鉄闘争」が発刊された。

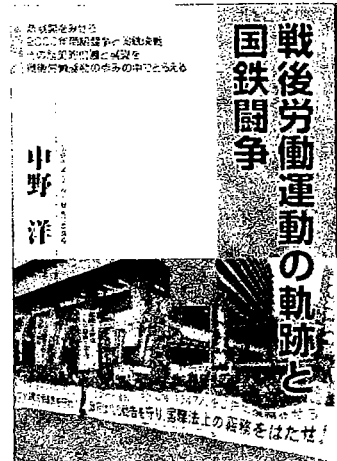
「十一・五労働者総決起集会」を前に発刊されたことも、時宜にかなったものである。

三組合の呼びかけで、今年三回目を迎えた「十一・五集会」は、重大な岐路に直面している国鉄闘争を勝利にむかって飛躍させるのか否かのかかった決戦である。全国のたまたかう仲間、今猛然と組織化に突入しており、その最大の武器としてこの本が十二分に活用されている。

この本の内容は、国鉄闘争を中心とした戦後日本労働運動の歴史、教訓を通し、二世紀初頭をいかに闘い、勝利していくのかを鮮明にさし示している。いわば、労働運動に関わる者総てのテキストと云って過言ではない。

危機に揺れ、激動する今日の時代の中にあつて労働者(階級)が確固たる確信をもって団結を固めてゆくことは、死活にかかつた問題である。

特にわれわれは、定期大会で三大闘争方針を決定した。これを実現してゆくためにも、その



根元的力をなす路線への確信をさらに深めることは不可欠の課題である。

しかもこの本は、読みやすいように、話し言葉で編集されている。ことわざにもあるように「知は力なり」である。

役員、活動家、組合員が、この本を徹底的に学習しよう。そして、闘う労働運動の新たな潮流形成を待ち望む多くの労働者の中に持ち込もう。

特にJR内の他労組の組合員にも積極的に購読を勧めよう。時あたかもJR総連九州の七百名(組織の7割)の脱退を皮

切りにいよいよ東労組、革マル解体一掃、組織拡大の絶好のチャンスを迎えている。総学習、総実践で、新世代の動労千葉の飛躍、発展をかちとろう!

冬季物販オルグへ

全力で奮闘しよう!

一〇月二日、第二九回定期大会終了後、直ちに全支部物販担当者が会議を開催し、一〇月半ばから始まる、冬季物販への意思統一をした。

まず、司会の高石執行委員より、「この夏季物販は、あまり売り上げがのびなかったが、この冬の物販で盛り返していこう」と冒頭の挨拶があり、その後、中野委員長より、「今年の前半は、総選挙や沖繩サミット反対闘争等、大変な闘いの連続で、動労千葉の物販も本来やるべき事ができなかった。しかしこれはなんとかなるが、もう一つの原因は不況だ。全体の購買力が低下している。更に国労の五月三〇日「四党合意」受け入れ以降、動労千葉にも影響があった。しかしこの冬の物販で挽回していこう。」との総括をうけた。

つづいて、白井協販部長より、「一〇四七名闘争の当該組合として、「四党合意」に反対し、国労闘争団をはじめ、リストラ・首切りで苦闘する全国の労働

者に勝利の道筋を示す闘いが必要。今後の闘いとして、三組合の呼び掛けによる、十一・五全国労働者総決起集会を成功させよう。そして開始された「シニア制度」―「検修・構内外注化」反対闘争、組織拡大闘争を貫徹しよう。そして動労千葉の闘いのセールスマンとして労組オルグを成功させよう」と、冬季物販オルグへの決意と方針を訴えた。



大失業と戦争の時代に通用する新しい世代の動労千葉を創りあげよう!